

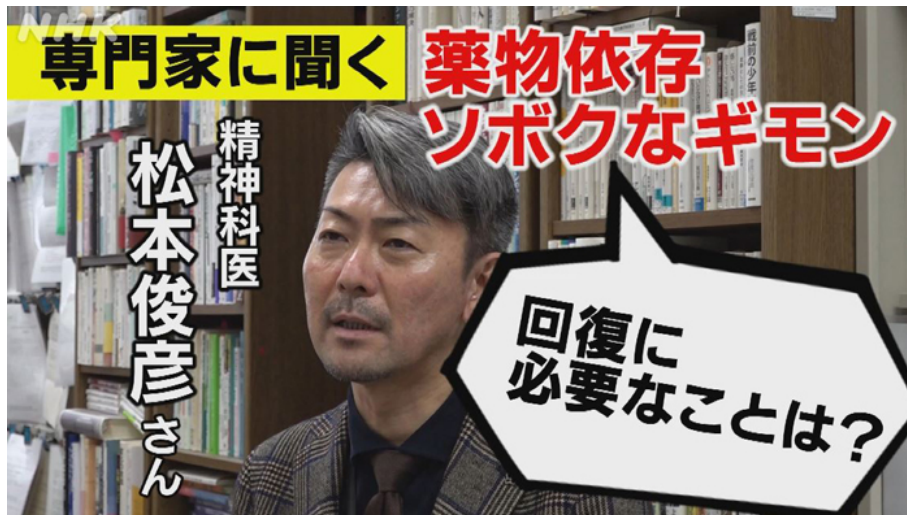
災害時 障害者のためのサイト

ハートネット 福祉情報総合サイト

ホーム 放送カレンダー 記事

番組一覧 みんなの声

テーマ別情報・窓口 動画 イベント



【専門家に聞く 薬物依存2】回復に必要なことは？

記事公開日：2020年04月07日

[#依存症・アディクション](#)シェアする  [#薬物依存症](#)

依存症をご専門とする精神科医の松本俊彦さんに、薬物依存に関する「素朴なギモン」をぶつけてみました。

—薬物依存から回復するためには、どんなことが必要なのでしょう？

すでに薬物に困っている方たちは、一人でこっそりやめようと努力をして、でもそれがなかなかうまくいかないで、悩んでいる人たちが多いんですね。もっと言えば、薬物を使って心の痛みをおさえている人たちというのは、本当はもっといろんな

人に愚痴ったり相談したりすればいいのに、薬物という化学物質だけで、なんとか自分を鎮めようとしているんですよ。そうすると、その「反対」をすることなんです。つまり、薬物の問題について、「誰かに相談すること」なんですね。

—そういう場合、誰に相談したらいいのでしょうか？

「薬物をやりたい」とか、「やっちゃった」というときに、説教したり叱責したりする人だと、よくない結果になります。むしろ、「（薬物を）やりたい」とか「やってしまった」、「やめられない」こういうふうに言っても、悲しげな顔をしないで、説教もしない、不機嫌にもならない、そういう安心・安全な場所。自分にも不利益を受けない、そういう場所が必要なんです。

—どうして、そういった「相談」ができないのでしょうか？

やっぱり薬物の問題で困っている人たちは、どこがそんなふうな安全な場所か分からないじゃないですか。うっかり正直に告白したら、警察に通報されて捕まってしまうんじゃないか、それから、薬物依存者は犯罪者だとかダメ人間だとか、そういうふうな世論がある中では、なかなか安心して相談の声をあげることもできないですよ。

安心して誰かに相談するためには、薬物依存症の人たちに対する偏見とかスティグマとか、そういったものが社会の中でかなり抑えられた状態でないと、安心して相談できない。そういう意味では、「安心して相談できる社会」とか、「安心して（薬物を）やめられない」というふうに言える社会を、どうやって作っていくかっていうことも大事なのかなって思いますね。

【専門家に聞く 薬物依存】

- ① どうして薬物を使ってしまうの？
- ② 回復に必要なことは？ ←今回の記事

※この記事はハートネットTV 2020年4月8日（水）放送「特集 薬物依存を考える（2）生放送 薬物依存とどう向き合う？」の取材を基に作成しました。情報は放送時点でのものです。